



▲海津駅から望む新雪の富士 清水文彦 小長谷 勝

CONTENTS

- | | | | | |
|----|--|---|---|------------|
| 2 | 新年ご挨拶
謹賀新年 東海鉄道OB会 会長 天谷 昭裕 | 11 | JR東海トピックス | |
| 3 | 新年を迎えるにあたり
東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 柘植 康英 | 14 | 東海鉄道OB会 会員優待情報 | |
| 4 | JR東海グループ・法人会員 新年ご挨拶 | 15 | お元気ですか? 名古屋セントラル病院
前立腺がん ～より早期の発見のために～ | |
| 6 | 地本・支団だより
●本部
平成27年 秋の祝賀受章
日本鉄道OB会連合会が全国大会開催 | 16 | 読者のひろば
真夏の音楽祭「音楽の広場」
静岡支部 片平 雅之
東海道五十三次の足跡を訪ねて
三島支部 大川 一雄 | |
| 7 | ●名古屋地方本部
支部活動の活性化に向けて(グラウンドゴルフ大会開催)
「武蔵線の歴史・魅力」を語り鉄道唱歌 武蔵線版を歌う
「紅葉の徳川園と文化のみち」を9支部合同で教養
秋のさわやかウォーキングを応援 | 17 | 投稿ページ
「バードウォッチング」
弥富野鳥園の探鳥会に参加して
三河支部 羅尾 修一 | |
| 9 | ●静岡地方本部
支部創立30周年記念集会と和太鼓演奏の音色に感動
第2回マレットゴルフ大会開催 | 記事募集 | | |
| 10 | ●東海東京地方本部
秋の長寿を楽しみつつ富岡製糸場を見学 | 18 | インストラクター
囲碁教室 考える力と体力
静岡支部 西ヶ谷 重信 | |
| | ●東海大阪地方本部
第21回ゴルフ大会を開催 | 我が支部の誇り
世界文化遺産「富士山反射炉」
三島支部 西島 孝男 | 19 | 文芸
編集後記 |

謹賀新年



東海鉄道OB会 会長
天谷 昭裕

明けましておめでとうございます。お揃いで、新年をお迎えになられたことを、まずもって、お慶び申し上げますと思います。

昨年は、いわゆる安全保障法制の議論を通して、国の安全保障のあり方が問われた年でした。

終戦直後、日本の産業基盤は荒廃し、それでも外貨を稼ぐために、簡単なブリキ製のおもちゃなどを輸出していましたが、そこには「Made in Occupied Japan」と表示されていました。占領下の日本製という意味です。

その後サンフランシスコ講和条約によって日本は主権を回復しましたが、同時に日米安全保障条約が締結され、米軍が形を変えてそのまま駐留したこともあり、私たち自身は、主権国家の一員として自らの国の存立基盤である安全保障について、切実なものとして考えなくてもよい時代が続きました。著名な評論家を喝破したように、「水と自由と安全は無料」だ、と錯覚できる時代が続いたということです。

世界の情勢が複雑に変化し、米国の力が一時ほど絶対的なものでなく、相対化している今日、それが、私たちの国の安全保障にどのような影響をもたらすのか、世界の現実を直視することが、これまで以上に大切な時代になったと思います。

私たちの身近では、現在、名古屋駅前に建設中のゲートタワーが、今年中にいよいよオフィスの入居が始まります。15層までの各フロアーは、既存のタワーズとつながっており、1、2階、13階はレストラン街で、来春には、新たに37

店舗が開業する予定です。和洋中の人気店、有名店が揃い、タワーズと合わせて、日本最大級のレストラン街が誕生することになります。またタカシマヤゲートモール、ビックカメラ、ユニクロ、ジーユーとともに、ホテル、オフィスが出店し、名古屋駅前に更に大きな賑わいを創出できると思っています。

JRでは昨年3月にダイヤ改正が行われ、のぞみが最高時速285キロにスピードアップされました。曲線区間が多く、周辺に与える環境等、様々な課題が想定される中で、これら一つ一つを技術的にクリアーされ、このスピードアップが実現されたことは、本当に素晴らしいことだと思います。

また、リニアについて、昨年の4月には山梨の実験線において、最高時速603キロを記録しています。営業最高速度・時速500キロといわれていますから、スピード面では二割程度の余力をもって営業するということになりました。

リニアの研究が始まって、10年ほどが経過した昭和47年、世界で初めて超電導磁気浮上走行に成功したと当時の国鉄が発表し、国分寺の鉄道技術研究所で見せていただく機会がありました。研究所の構内に敷かれたガイドウェイを、音もなく行き交うやや大振りの試験装置に、大変感動したことを覚えています。

技術の進歩は素晴らしいものがあり、これを担っている皆さんに心から敬意を表したいと思います。

今年一年が、OB会の会員の皆様にとって良い年でありますよう、心から御祈念申し上げます。

新年を迎えるにあたり



東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
 柘植 康英

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

OB会の皆様におかれましては、日頃から様々な活動を通じて旧交を温めていただくのみならず、当社に対する幅広いご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、当社の状況ですが、昨年はビジネス需要が好調だったうえ、観光面でも引き続き多くのお客さまにご利用いただいた結果、11月末までの東海道新幹線の断面輸送量は前年を4%上回りました。また、お客様の信頼を失うような事故もなく、安全・安定輸送を確保することができました。

東海道新幹線では、大規模改修工事や脱線・逸脱防止対策などの地震対策を推進するとともに、新型車両N700Aの投入を進め、昨年8月にはN700系改修工事を完了しました。また、最高速度285km/hへの速度向上や「のぞみ10本ダイヤ」を活用した弾力的な列車設定により、一層充実した輸送サービスを提供することができました。また、在来線では、3月に武豊線の電化開業を行うとともに、新製したキハ25形気動車の投入などを着実に進めました。

営業面では、エクスプレス予約などの会員の皆様への観光型商品の販売を強化するとともに、「Shupo」や「徳川家康公顕彰四百年記念事業」を機としたイベントなど地域と連携した取組みを通じて、ご利用の拡大に努めました。

超電導リニアによる中央新幹線計画では、引き続き地元への丁寧な説明を重ねながら、中心線測量の実施や用地説明会の開催など、今後の工事に向けた準備を進めました。

また、南アルプストンネルや品川駅の一部について、工事契約を締結することができました。

一方、山梨リニア実験線では、技術のブラッシュアップやコストダウンに取り組んだほか、4月には速度603km/hを記録し鉄道の世界最高速度を更新しました。また、昨年度に引き続き「超電導リニア体験乗車」を実施し、多くの方に速度500km/h走行を体験していただきました。

鉄道以外の事業では、名古屋駅に建設中のJRゲートタワーについて、12月に上棟し、内装設備工事も本格化するなど計画を着実に推進したほか、駅商業施設のリニューアルを実施するなど、既存事業の強化にも努めました。

迎えた平成28年も、まずは安全・安定輸送の確保を最優先に、新幹線では引き続き大規模改修工事や地震対策、N700Aの投入等を進めるとともに、春のダイヤ改正では285km/h運転列車の一部拡大による速達化などを実施します。また、在来線でもキハ25形気動車を引き続き投入するなど、一層の輸送サービスの充実にも努めます。さらに、11月のオフィス入居開始、翌年4月の全面開業に向けて、JRゲートタワー計画を着実に進めるとともに、中央新幹線についても「工事の安全」「環境の保全」「地域との連携」を重視して、早期実現に向けて着実に取り組みます。

本年も、東海鉄道OB会の皆様のご健康・ご活躍をお祈りするとともに、皆様のご期待に応えられますよう一層の努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます

<p>東京ステーション開発株 代表取締役社長 明石 洋一</p>	<p>新横浜ステーション開発株 代表取締役社長 串山 正幸</p>	<p>ジェイアール東海静岡開発株 代表取締役社長 小林 創</p>
<p>静岡ターミナル開発株 代表取締役社長 久野 義彦</p>	<p>浜松ターミナル開発株 代表取締役社長 依田 直人</p>	<p>豊橋ステーションビル株 代表取締役社長 布施 知章</p>
<p>ジェイアールセントラルビル株 代表取締役社長 天谷 昭裕</p>	<p>名古屋ステーション開発株 代表取締役社長 蟹沢 清治</p>	<p>ジェイアール東海関西開発株 代表取締役社長 和泉 秀郎</p>
<p>ジェイアール東海不動産株 代表取締役社長 平澤 純一</p>	<p>株ジェイアール東海パッセンジャーズ 代表取締役社長 渡部 一俊</p>	<p>ジェイアール東海商事株 代表取締役社長 可知 照生</p>
<p>株ジェイアール東海高島屋 代表取締役社長 山田 正男</p>	<p>東海キヨスク株 代表取締役社長 中村 満</p>	<p>ジェイアール東海フードサービス株 代表取締役社長 坂田 雅哉</p>
<p>株ジェイアール東海ホテルズ 代表取締役社長 印南 隆夫</p>	<p>株ジェイアール東海ツアーズ 代表取締役社長 吉田 修</p>	<p>株ジェイアール東海エージェンシー 代表取締役社長 阿久津 光志</p>
<p>株 ウェッジ 代表取締役社長 山本 雅弘</p>	<p>ファーストエアートランスポート株 代表取締役社長 浅倉 誠治</p>	<p>ジェイアール東海バス株 代表取締役社長 畑田 整吾</p>
<p>株東海交通事業 代表取締役社長 山守 努</p>	<p>ジェイアール東海物流株 代表取締役社長 加藤 公一</p>	<p>ジェイアール東海建設株 代表取締役社長 後藤 晴男</p>
<p>ジェイアール東海コンサルタンツ株 代表取締役社長 森下 忠司</p>	<p>日本車輛製造株 代表取締役社長 森村 勉</p>	<p>新生テクノス株 代表取締役社長 杉本章</p>

(順不同)

新幹線エンジニアリング株

代表取締役社長
石川 栄

東海交通機械株

代表取締役社長
本間 幸雄

日本機械保線株

代表取締役社長
寺島 優

中央リネンサプライ株

代表取締役社長
藤川 紳

ジェイール東海情報システム株

代表取締役社長
吉田 孝登志

ジェイール東海総合ビルメンテナンス株

代表取締役社長
水嶋 敏行

新幹線メンテナンス東海株

代表取締役社長
工藤 純生

東海整備株

代表取締役社長
滝井 孝

セントラルメンテナンス株

代表取締役社長
浜田 賢治

株 関西新幹線サービック

代表取締役社長
清水 厚真

株 双葉鉄道工業株

代表取締役社長
関 雅樹

株 シーエヌ建設株

代表取締役社長
山口 善久

株 全日警

代表取締役社長
片岡 由文

株 鉄友社

代表取締役社長
鈴木 厚志

株 名古屋鉄友社

代表取締役社長
石田 昌隆

株 名工建設株

代表取締役社長
野田 豊範

株 日本貨物鉄道株 東海支社

支社長
吉澤 淳

株 アイワ電設開発株

代表取締役社長
大塚 喜久夫

株 鉄建建設株 名古屋支店

執行役員支店長
山本 孝栄

株 東邦電気工業株

代表取締役社長
内田 滋

株 名古屋通信工業株

代表取締役社長
田辺 忠宏

株 中部総合ビルサービス

代表取締役社長
外山 和巳



本 部

平成27年 秋の叙勲受章

平成27年11月3日、秋の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、4名の方が栄えある賞賜を受けられました。おめでとうございます。

その伝達式が、11月9日東京プリンスホテルで行われました。(順不同)



瑞宝 双光章

笠寺支部
酒井 兼夫 様
(鉄道業務功勞)



瑞宝 双光章

陶都支部
原 充 様
(鉄道業務功勞)



瑞宝 単光章

湖西支部
袴田 勇 様
(鉄道業務功勞)



瑞宝 単光章

三河支部
阿知波 正雄 様
(鉄道業務功勞)

日本鉄道OB会連合会が全国大会開催

東海鉄道OB会 事務局

日本鉄道OB会連合会の第11回全国大会が、10月15日、東京・飯田橋のホテル・メトロポリタンエドモントで開催され、東海鉄道OB会からは、天谷会長をはじめ各地方本部長及び支部の代表が出席しました。

大会では、佐々木会長の挨拶で「地域と共生」を旗印に活動を続けているOB会について、全国の支部でインストラクターが登録されるまでになり、昨年度は92名増加して1,202名になりました。また、JR各社への協力活動についても増収協力で約23億9200万円、駅清掃・美化・イベント協力の参加者数は、延べ10万4400人に達したことに、北海道から九州までの6つの鉄道OB会関係者に謝意を述べられました。

その上でOB会全体の課題としては、会員の高齢化を挙げ、今年4月現在で14万847名(準会員含む)となっているが、かつての同窓会、レクリエーション的活動から各地域で特色

のある取り組みが必要となっている。連合会という組織の中での情報交換を通じて、更に進めて欲しいと述べられました。

挨拶に続いて、長い間OB会活動に尽力されOB会の発展に寄与された26名に特別功勞章を、また、自分の趣味を生かして会員等を指導するとともに、活動を通じて地域に貢献されたインストラクター25名が表彰されました。

東海鉄道OB会からは、次の方が受賞されました。

〈特別功勞章〉

静岡地方本部 磐田支部 平野 利一
名古屋地方本部 四日市支部 岡村 昌夫

〈インストラクター表彰〉

静岡地方本部 静岡支部 後藤 隆司
名古屋地方本部 名古屋東支部 伊藤 典男

名古屋地方本部

支部活動の活性化に向けて(グラウンドゴルフ大会開催)

高山支部 横田 茂

昨年、高山本線全通80周年記念イベントと、高山駅舎建替えのため、取り壊しお別れイベントが催された際、会員が国鉄時代に収集した、「思い出の鉄道コレクション」を展示して大好評を得ました。その協力に対して9月にJTB東海高山駅長から感謝状を頂きました。

新駅舎の工事進捗状況(9月現在)は、既に構上駅となり駅表から駅裏(東から西)へと線路を跨ぐ跨線橋の骨組みができました。この工事風景は、これまで高山では見たことのない大型クレーン2基がフル稼働しており、市民はクレーンに興味を持ちながら工事を見守っていますが、28年秋に駅舎が完成した時には、自由通路として利用できるようになります。また、駅舎の完成に併せて高山市の行政、文化、観光、福祉などの施設として、合同庁舎鉄筋コンクリート4階建(税務署、公共職業安定所、法務総合庁舎)が駅西地区に計画されており、駅を中心とした発展が期待されます。

新駅舎落成時には、記念イベントが計画され協賛の依頼があれば支部としても協力し、昨年実施した「思い出の鉄道コレク



▲グラウンドゴルフを楽しんだ皆さん

ション展」を会員の協力を得て再度実施したいと思っています。

今年の事業としては、グラウンドゴルフ大会を2回計画し、5月と7月に開催しました。両日とも好天に恵まれ互いにスコアを気にしながら16ホールトータル方式で競いました。

結果は、川上会員の連勝となりましたが、来年からは会員拡大と親睦深めるため、未加入者、家族にも参加を呼び掛けるとともに、OB会への理解と入会を勧めていきたいと思っています。
(成績)5月:優勝 川上 文武 2位 原田 利一朗 3位 長瀬 清美
7月:優勝 川上 文武 2位 横田 茂 3位 長瀬 清美

「武豊線の歴史・魅力」を語り鉄道唱歌・武豊線版を歌う

半田支部 成田 信幸

開業から129年の歴史のある武豊線が3月1日待望の電化開業をしました。

武豊沿線の行政等も電化を記念し、東浦町郷土資料館での「武豊線電化鉄道展」、半田市発行の「号外-武豊線新聞」、亀崎駅での「313系電車写真展」等、様々な催事を行い武豊線の歴史及び利便性等を多くの地域住民に伝えて頂きました。それらの情報を経て、長年武豊線をご利用頂いている沿線の森岡地区高齢者教室から「武豊線の歴史について」の講演の依頼があり、早速会員で昨年石浜地区において行った講演資料等を基に検討しました。

8月27日、森岡コミュニティセンターホールで開催された講演会では、約130名の方々で一杯になり、武豊線が如何に身近な路線として関心が高いか何れされました。参加者は、高齢者が多いため、会員による武豊線建設経緯等の話の中で、鉄道資料館に保存している開業当時の写真、使用した双頭レール、時刻表、運賃表や駅の変遷表、通票等の実物を見せながら説明しました。

また、手旗による乗務員入換合図等の実演を行い、皆さん身



▲手旗による乗務員入換合図の実演風景

を乗り出し、真剣な表情で聞き入っていました。

特に、「武豊-熱田間」を工事着工から僅か7ヶ月で開通したこと、半田駅の跨線橋、亀崎駅舎等、鉄道遺産が数多く残されている事に感動されていました。

最後に、会員による趣味を生かした落語の披露や武豊線の歴史を振り返り作詞した「鉄道唱歌 武豊線版」をメロディーに合わせて会場全員で合唱し、地元の方々にも大いに喜んで頂き、また、武豊線が都市圏輸送として益々重要な役割を担う歴史と魅力ある路線であることを改めて知って頂き大変嬉しく思いました。

「紅葉の徳川園と文化のみち」を9支部合同で散策

中村支部 加藤 幸雄

11月20日、名古屋地区協議会(通称「三金会」として恒例となっています)交流会を、今回は「紅葉の徳川園と文化のみち」を散策してきました。

当日は、雨上がりの朝でしたが、50名もの多くの方に参加していただき、JR大曾根駅を出発する頃には陽も射し始め、徳川園から二葉館(双方ともガイドボランティアの会の会員による案内)を回り、午後は名古屋市市政資料館を見学するコースです。

矢田川の河岸段丘を生かして再整備され、平成16年に日本庭園として開園した徳川園では、紅葉も見られ庭園を中心とした日本庭園(池泉回遊式庭園)の美しさを満喫しましたが、園内で結婚式の前期りのカップル数組が記念写真を撮影しており、庭園がより一層華やかさを増していたような印象を受けました。

続いて二葉館では、日本の女優第一号と謳われる「川上貞奴」と電力王として名を馳せた「福沢桃介」が共に暮らした邸宅跡で、当時の生活や世の中の様子が見られ、大正浪漫の香りと雰囲気を感じられました。

午後に訪れた名古屋市市政資料館では、外壁の赤い煉瓦



▲徳川園を散策中の光景

と白の花崗岩、ドーム・上屋の緑の銅板、そして屋根のスレートの黒を組み合わせた荘重で華やかなネオ・バロック様式の建物で、管内には昔の裁判所の様子や名古屋市の変遷の様子が分かる資料などが展示されており大変勉強になりました。中でも昔の名古屋(駅)の写真の前では、当時を懐かしみ会話が弾んでいたのが印象的でした。

名古屋の近代化の歩みを伝える「文化のみち」を江戸文化や近代化の明治、そして浪漫香る大正に思いを馳せながら楽しく散策することができました。

秋のさわやかウォーキングを応援

三河支部 竹下 孝夫

当支部では、支部活動としてゴルフ、カラオケ、旅行、麻雀等々で会員の親睦を深めていますが、今秋三河地区全7駅で開催される「さわやかウォーキング」の内、比較的交遊量の多いコース3駅での参加者の安全を願って応援することにしました。

最初は10月24日、安城駅の「秋の安城、新美南古ウォールペイントと蔵出しの新酒を楽しもう」コースで、デンマークの町並みを再現したテーマパーク(安城産業文化公園デンパーク)や新美南古ウォールペイントを眺めながら、後半の「神杉酒造」では、蔵出し新酒が振舞われました。

次に11月3日、北・中間崎駅の「家康公顕彰400年生誕の地 岡崎を散策 家康公ゆかりの寺社仏閣をめぐる」コースで、前日の雨もあがり秋晴れの下、岡崎では家康公顕彰400年の年にあたり、静岡・浜松とともに緑の地として色々なイベントが開催され、徳川家の菩提寺である大樹寺をはじめ、岡崎城まつりも開催されていました。

そして最後は11月8日、二川駅の「二川密高屋 朝聖 オープン記念 宿場町の面影残す二川宿と二川宿本陣まつりを訪ねて」コースで、昔の面影を残している二川密本陣周辺では、大行列や二川中学校生徒によるバンド、更には屋台



▲大樹寺前を歩く参加者一行を見守る会員

も出て地元住民を挙げての歓迎行事を予定されていましたが、この日は久しぶりの雨となり、残念ながら中学校体育館など室内での実施となってしまいました。

3ヵ所での参加者総数は、4,900人と大変な賑わいとなりましたが、トラブルもなく無事終えることができ、関係駅長から感謝の言葉をいただきました。

来年1月10日、幸田駅で開催される「風揚げまつり」への協力要請がありますが、これからもJR東海の各種イベントには出来る限り参加協力をしていきたいと考えています。

静岡地方本部

支部創立30周年記念総会と
和太鼓演奏の音色に感動

身延支部 望月 久雄

4月26日、支部創立30周年記念総会を江戸時代から明治中期にかけて駿河から甲州・信州を結ぶ物流の大動脈「富士川水運高瀬船」の沿岸地近くのホテルに於いて、会員42名が出席して開催しました。

会場内には、大正12年富士、身延鉄道会社鉄道線路施設工事写真を公開し、当時の陸軍津田沼連隊による線路工事が懐かしく思え時代の流れを感じさせられました。

当支部は、昭和60年南甲府支部と身延支部が合併し、身延支部として会員60数名で結成されました。当日は、来賓として静岡地方本部長を招き、結成30周年を記念して特別功労者に表彰状が贈られました。結成から52名の物故者を偲び全員で黙祷を捧げ冥福をお祈りした後、総会次第により来賓の挨拶、平成26年度事業決算報告、27年度事業・会計報告の承認を得て、役員改選、支部会則一部改正を提案し、全会一致で承認され総会を終了しました。



▲総会の記念写真と力強い和太鼓演奏

総会第二部では、初代身延支部長の支部結成の懐かしい普話に、その過程の厳しさは禁じ得ないものを感じさせられました。懇親会の際、高齢者の交通事故が多発しているため山梨県警交通係長を招き、高齢者の交通事故防止、オレオレ詐欺について講義を受けた後、地元和太鼓会員15名による「八幡社和太鼓の演奏」4曲が披露され、会員は太鼓の音に酔い、活力をつけた後、会員相互の意見交換をし、OB会に在籍して良かったとの声が多く聞かれ、旧交を深く記憶に残る盛大な記念総会となりました。

第2回マレットゴルフ大会開催

飯田支部 林 二一

当支部では、昨年度から組織の活性化、健康保持、会員相互の親睦を深めることを目的として、マレットゴルフ大会を企画開催いたしました。

今年度は、第2回目の大会を7月28日、松川町にある清流園マレットゴルフ場にて12名が参加して大会を開催しました。

当日は、夏の最中であり、さぞかし炎天下の中で大変だろうと思いきや逆にあらず、松川の清流からの冷気により松葉・アカシヤ…等々の木陰に入ると心地よい爽やかな冷風が少し汗ばんだ肌を通り過ぎ、一時暑さも忘れさせてくれるほどでした。

当初36ホールを予定していましたが、さすがに足腰に疲れも出る方も見え、また、お昼に丁度よい時間となったため27ホールで打ち止めとなりました。

優勝は、下沢 公さんが勝ち取り、それもハンディ5をつけてのスコアでした。ホールインワン賞は、北原千尋さんが2回達成され、お二人ともプロ並みの腕前を発揮されました。88歳の森本昭夫さん、86歳の宮下春美さんもかなりの熟練度を見せられ、70歳の若者?を抑えて上位の成績を取られました。



▲暑い中でゴルフを楽しんだ様子

昼食は、清流園がお勧めの牛丼丼定食が主流で、中にはビールの大ジョッキを片手にする人もいましたが、自然豊かなマレットゴルフ場で、和気あいあいとプレーし、温泉に浸かって一汗流した後、好プレー・珍プレー話に華を咲かせ、和やかな一日を過ごすことができました。

まだ参加されていない会員の中には、マレットゴルフ愛好家が沢山いると聞いています。回数を重ね、顔を出す機会を多くして会員相互の絆をより一層強めていきたいと思っています。

東海東京地方本部

秋の長瀬を楽しみつづ
富岡製糸場を見学

東海東京地方本部 事務局

10月3日、今年2回目のバス旅行を会員及び家族含めて42名の参加をいただき実施しました。

当日は、秋晴れの快晴に恵まれ、東京駅八重洲北口に集合し、最初の目的地である長瀬のライン下りを目指して出発。途中行楽シーズンでもあり、道路の混雑が予想されましたが、渋滞もなく順調に進むことができました。

長瀬のライン下りでは、視界橋から急流スポットとして有名な小滝の瀬を経由して終点の岩畳までの20分間の舟下りを堪能しました。

お昼は、昭和3年に建築(昭和55年現在地に移設)された「有隣倶楽部」で秋父の食材をふんだんに使った竹筒料理を食した後、今回のメインである世界遺産「富岡製糸場」に向かいました。



▲舟下りを楽しんだ皆さん

この富岡製糸場は、明治5年に創業した日本初の官営模範器械製糸場で、明治政府の掲げた政策「殖産興業」の一翼を担うべく誕生したのですが、昭和62年3月に操業停止をした後、年間維持費も固定資産も含めて1億円かかるという状態の中、当初は、年間来客数も僅か5万人でしたが、平成26年6月世界遺産に登録された現在では、年間来客数も130万人を超える規模となっています。建物は、荘厳な造りとなっており、日本近代化の幕開け時の勢いを感じました。

その後、りんご狩り、こんにゃくパーク工場を見学し、パーク工場ではこんにゃく食べ放題で、お昼も一杯となったところで帰路に着き、渋滞等もなく予定より20分早く東京駅丸の内北口に到着、次の再会を約束して解散となりました。

東海大阪地方本部

第21回ゴルフ大会を開催

東海大阪地方本部 事務局

10月21日、当地方本部主催のゴルフ大会を「瀬田ゴルフコース」にて開催しました。

数日好天が続く、当日も秋晴れの絶好のコンディションの下、32名が参加して元気にプレーすることができました。

このゴルフ場は、コース内へカートを乗り入れることが可能で、以前には前日の天候不良で何度か乗り入れ禁止の時期がありました。当日は規制区域外の走行が全てOKでかなり重宝しました。

しかし、スタート前からゴルフ場の手配ミスでゴルフシューズの迷子騒ぎが起きたのをはじめ、プレー中にも様々な忘れ物に関する珍事がありました。ドラコンホールでいい当たりで本当によく飛びましたが、次のホールへ移動した際、ドラコン旗への署名とその場所に置いてくるのを忘れたのに気付く、ここはカートの威力で直ぐにUターンして、何とその後続のパーティに引き継ぎましたが、恐らくドラコンが取れたらうと悔やまれる忘れ物でした。

また、クラブ1本置き忘れに気付きましたが、幸い後続の



▲青に続いて元気に集合したメンバー

パーティが拾ってくれたものの、実はクラブ2本を忘れていたほか、グリーン上でマーカーをしたところを見失い、マーカー探しに奔走する光景もありました。更に、違う次元ですが、満身の力を込めて誰んだティーショットで、ズボンのベルトが切れてズボンは下がり、ボールは真横に飛んで行くというハプニングや、二段グリーンで登りの打った打ち切れずショットし、三度トライする中で最後は打った地点より後方に行ってしまったことなど、大変微笑ましい大会となりました。

いろいろありましたが無事大会を終えることができ、その後、表彰式と懇親会に臨み、最後に和泉本部長から来春の次回大会日程のお知らせがあり、再会を誓いながら第21回大会を終えました。

大会の成績は次の通りです。(敬称略)

優勝	運輸営業支部	石田 孝治
準優勝	同	松本 知二
三位	同	兒島 芳樹

平成27年度

顕功章・特別功労章・功労章表彰式

●人事部

平成27年度の顕功章・特別功労章表彰式を10月14日、名古屋マリオットアソシアホテルで行いました。

「顕功章」は荒瀬忠義さん(新幹線鉄道事業本部施設部)、下山田 稔さん(東京駅)の2名が、「特別功労章」は優れた功績が認められた14名の方が受賞されました。

表彰式では、受章者並びにご家族に柘植社長より表彰状及び賞章が授与されました。

表彰状授与後、山田会長、柘植社長から顕功章・特別功労章受章の栄誉を称えとともに、山田会長から「本日の受章を機に、皆さんは多くの社員にとって目標となる存在となったわけであるから、いつまでもその目標として、これまでの業績、実績の領域にとどまることなく、新しいものに挑戦する意欲を率先して見せていただきたい」と挨拶がありました。これを受けて、受章者を代表して下山田さんが「本日の栄誉を忘れることなく、今後も不断の向上に努めるとともに、若い世代に鉄道人としての使命感と高い技術力を継承し、当社のさらなる発展に尽力することを願います」と答辞を述べました。



▲柘植社長から表彰状を授与される荒瀬さん



▲答辞を述べる下山田さん



▲表彰式風景

功労章は全社で57名が受賞し、東海鉄道事業本部、新幹線鉄道事業本部、静岡支社、関西支社などで表彰式を行いました。

平成27年度 顕功章・特別功労章・功労章 受章の皆さん(敬称略)

【顕功章】

荒瀬忠義(新幹線鉄道事業本部施設部)
下山田 稔(東京駅)

【特別功労章】

竹内賢一(総合企画本部経営管理課)
上野和典(中京圏新幹線鉄道事業本部施設部)
石田理之(関西支社アールエール東海センター) 出田
山田隆雄(シエールアール東海長岡) 出田
青島祥洋(施設工務部)

【東海鉄道事業本部】

米本清孝(工務設備課)
川崎重和(工務設備課)

【大宮駅】

安藤昌典(名古屋駅)

【新幹線鉄道事業本部】

安次 由

【静岡支社】

小倉 隆(静岡電力事務所)

【関西支社】

佐藤浩司(関西支社)

【京都支社】

原本 毅(京都支社)

【功労章】

岩間徳博(総合企画本部情報システム課)

水谷 孝(施設部)

岩野 功(施設部)

藤田祐次(新シエールアール東海センター) 出田

藤田直広(新シエールアール東海センター) 出田

鈴木隆之(シエールアール東海長岡) 出田

山寺正人(施設工務部) 出田

藤田文昭(総合企画センター) 出田

岩間浩二(施設部) 出田

岩間浩二(施設部) 出田

岩間浩二(施設部) 出田

岩間浩二(施設部) 出田

岩間浩二(施設部) 出田

【東海鉄道事業本部】

大塚 隆(施設部)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【新幹線鉄道事業本部】

藤田直広(新シエールアール東海長岡)

【大宮駅】

大塚 隆(施設部)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

【大宮駅】

田原 浩(大宮駅)

安全に対する熱い想いを披露

運転事故・労働災害防止 エッセイ発表会

●安全対策部

昨年度、エッセイ集「後輩たちに伝えたいこと その教訓を私たちの財産に」を発刊しました。運転事故及び労働災害防止に関して、社員自らが経験から何を学び考え、どう実践しているかを、冊子を読むことで感じることができます。今回、執筆から生の声を直接聞き、エッセイへの理解をより深めることを目的として9月10日に発表会を開催しました。

社長をはじめとする幹部や全社からの300人を超える聴講者に対し、15人のエッセイ執筆者が発表を行いました。発表者からは「安全に対し絶対に妥協しない」「自分に負けない強い心を持つ」「後悔しない、させない仕事をやる」といった経験に裏付けられた、事故・労働災害防止に向けた鉄道人魂を象徴する言葉が述べられ、聴講者一人ひとりが発表者の熱い想いを受け取り、各職場に持ち帰りました。

今回聴講できなかった方も、「自らが同じ場面に置かれたら」と考えながらエッセイ集を読み、発表者や聴講者、職場の仲間と意見を交わすことで、各職場における「安全文化の醸成」「労働災害の根絶」につなげていただきたいと思います。



▲発表者の皆さん



▲発表会委員の松嶋社長による挨拶

約2年半で新幹線80編成の大改造

N700系車両 改造工事の完遂

●新幹線鉄道事業本部

平成25年4月より、浜松工場で実施してきたN700系車両の改造工事が8月5日のX4編成出場により完遂し、同日、完遂式を実施しました。

今回の改造工事では、中央締結ブレーキディスク・地震ブレーキ・定速走行装置・車体傾斜区間拡大など、N700Aに採用した機能の一部をN700系全80編成に追加し、安全性・安定性、快適性を向上させました。また、通常新車投入であれば10年以上を要する車両の置き換えをこの改造工事によって、約2年半に短縮することができました。

工事は、1編成あたりの部品点数が約1万点、図面約1千枚という東海道新幹線開業以来初となる大規模なものであり、高い技術力を要するとともに、改造作業に起因する作業ミスなどでお客さまにご迷惑をおかけすることは、絶対に許されないという危機感がありました。そこで、改造工事プロジェクトチームを発足し、「品質の確保」と「作業性の向上」を目的として様々な取り組みを行ってきました。

難易度の高い工事を完遂したことは、関わった社員にとって大きな自信になりました。現在、初期に改造した車両が全般



▲改造工事完遂式



▲改造工事作業

検査に入場してきており、改造箇所の状態確認を行っています。さらに、3月に実施されたダイヤ改正での速度向上に伴う車両への影響評価なども合わせて行い、安全・安定輸送の強化に努めています。

警察と連携し不測の事態に備える

新幹線不審者対応 合同訓練

●新幹線鉄道事業本部

7月30日、新幹線不審者対応合同訓練を大井車両基地で実施しました。警視庁と当社から約80名が参加し、第一部を「不審者対応訓練」、第二部を「新幹線緊急時対応訓練」として行いました。

第一部は、上り列車が新横浜～品川駅間を走行中、車掌が不審者に声をかけたところ、「これはガソリンだ! 火をつけるぞ」と騒ぎ出したという想定で対応訓練を実施しました。車掌は警察手配要請とともに、お客さまを適切に避難誘導し、品川駅到着後に駆け付けた鉄道警察隊、警備犬が不審者を確保しました。第二部では、不測の事態発生時に、乗車中の警察官が、お客さま対応等を乗務員と協力して行うことができるように、乗務員に異常を知らせる車内機器や避難誘導時に使用する器具等の説明を、当社より行いました。

訓練後、野島総務課長より「今後も実効性のある現実的な対策を地道に実施し、鉄道警察隊の方々との連携を密にし



▲不審者対応訓練



▲新幹線緊急時対応訓練



▲合同訓練に参加した皆さん

て、安全・安定輸送の確保に努めていきたい」との挨拶がありました。今後も社員一人ひとりが不測の事態に備えることで、東海道新幹線の安全・安定輸送の確保に努めていきます。

異常時における迅速かつ適切な行動を称える

東海道新幹線列車内火災事故対応に 伴う表彰状及び感謝状贈呈式

●新幹線鉄道事業本部 ●関西支社

7月30日に新幹線鉄道事業本部、7月23日に関西支社において、6月30日の東海道新幹線列車内火災事故に対応した社員及び関係会社社員への表彰状・感謝状贈呈式を開催しました。未曾有の異常事態のなか、職責を越えて一致協力し、迅速かつ適切な判断と行動をとったことを賞したものです。

贈呈式では、東山本部長より「複雑な状況で最善を尽くしてくれた。安全網をわかっていることと行動できることは別次元。『最も安全と認められるみち』を実際に採ってくれたことは誇りである」、田中関西支社長からは「異常事態の中、プ



▲表彰された新幹線鉄道事業本部及び関係会社の皆さん

口の仕事をしてくれた。職場においても、全員が適切に対応できるよう自らの経験やマインドを伝えてほしい」との挨拶がありました。

また、8月19日には、対応にあたって特に貢献のあった小田原駅及び小田原電力所を表彰しました。

出席者一同、鉄道人としてのスピリットの大切さを改めて実感できる機会となりました。



▲表彰された関西支社の皆さん



▲表彰された小田原駅の皆さん



▲表彰された小田原電力所の皆さん

名古屋マリオットアソシアホテル オールデイダイニング「パーゴラ」特別優待

名古屋マリオットアソシアホテルの15階オールデイダイニング「パーゴラ」において、東海鉄道OB会会員様向けの特別優待をご用意しました。

スタイリッシュな雰囲気や流石の店内では、東海三県の食材を使用した世界のマリオット・レソンのお料理がブッフェ形式で楽しめます。またパフォーマンスキッチンでは、シェフがお客様の目の前で料理を仕上げます。ご家族やご友人と、出来たてのお料理を囲みながら思い出に残るひとときをお過ごしください。

1月4日より「北の味覚ブッフェ」を開催します。スープカレーやパーゴラ特製のいかめしなど、北の大地と豊かな海が育んだ味わいを、優待価格でお召し上がりいただけるこの機会に、ぜひご堪能ください。



パーゴラ店内



北の味覚ブッフェ

■ オールデイダイニング「パーゴラ」特別ご優待

ディナーブッフェ+フリードリンク10%割引

※平成28年1月4日～3月31日

※ご来店の際「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。 ※他の割引との併用は致しかねます。
 ※OB会会員1名様につき、お連れ様(人数分)も優待します。
 ※特別優待商品、プラン商品等、一部割引適用外の商品がございます。

ディナーブッフェ+フリードリンク (※税込)

大人	平日	6,300円 → 5,670円	シニア (65歳以上)	平日	5,800円 → 5,220円
	土日祝	6,800円 → 6,120円		土日祝	6,300円 → 5,670円

営業時間

6:30～23:00(ラストオーダー22:30)
 朝食ブッフェ 6:30～10:00
 ランチブッフェ 11:30～15:00
 ディナーブッフェ 17:30～21:00

ご予約・お問い合わせ

オールデイダイニング「パーゴラ」
 Tel.(052)584-1101(9:00～22:00)

ホテルアソシア静岡 レストラン特別優待

ホテルアソシア静岡が誇る5つの一流レストラン(日本料理「華雲」、中国料理「梨杏」、鉄板焼「那古亭」、イタリア料理「アルポルト静岡」、コーヒーショップ「パーゴラ」)において、東海鉄道OB会会員様向けの特別優待をご用意しました。

ホテル2階の中国料理「梨杏」は、広東料理をベースに中国各地の名菜や、本場香港から招へいた点心師が腕を振るう飲茶をご提供します。また15階のイタリア料理「アルポルト静岡」は、日本のイタリア料理の先駆者である片岡シェフ監修のお店で、常に究極の味を求め独自のスタイルで展開する本格的なイタリア料理を堪能できます。

優待価格でお召し上がりいただけるこの機会に、ぜひご利用ください。

■ ホテルアソシア静岡 レストラン特別優待

料理・飲料代金10%割引

※平成28年1月5日～3月31日

※ご来店の際「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。
 ※OB会会員1名様につき、お連れ様(人数分)も優待します。
 ※特別優待商品、プラン商品等、一部割引適用外の商品がございます。
 ※他の割引との併用は致しかねます。



梨杏ディナー(一例)



アルポルトディナー(一例)

営業時間

朝食 7:00～10:00 (ラストオーダー 9:30)
 ※「パーゴラ」のみ
 ランチ 11:30～14:30 (ラストオーダー14:00)
 ディナー 17:30～21:00 (ラストオーダー20:30)

ご予約・お問い合わせ

日本料理「華雲」・鉄板焼「那古亭」 Tel.(054)271-2293(10:00～21:00)
 ※「華雲」は、月曜・火曜定休(祝日も除く)
 中国料理「梨杏」 Tel.(054)254-4470(10:00～21:00)
 イタリア料理「アルポルト静岡」 Tel.(054)205-9633(10:00～21:00)
 コーヒーショップ「パーゴラ」 Tel.(054)254-4460(9:00～21:00)



前立腺がん ～より早期の発見のために～

名古屋セントラル病院

泌尿器科 主任医長 山田 泰司



前立腺がんについて

最近、前立腺がんという病名をよく耳にする方もいらっしゃると思います。もともと前立腺がんは欧米人に多いといわれており、米国では男性がかかる悪性腫瘍の中で罹患率は第1位、死亡率は第2位となっています。日本においても年々増加傾向で、2025年には男性の悪性腫瘍の罹患患者数で第1位になると予想されています(図1)。この増加の原因としては生活習慣や食生活の欧米化が考えられています。

前立腺がんをより早期に発見するために

前立腺がんは初期の段階では手術や放射線治療などにより完治することが可能ですが、進行すれば症状を軽減するための一時的な治療しかできません。従って、できる限り初期の段階でがんを発見することが大切です。ところが前立腺がんは進行しないと自覚症状が現れにくい病気です。

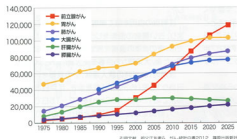
そこでPSAによる検査(採血による検査)が有用となります。PSAとは前立腺組織のみから分泌される蛋白のことで、前立腺がんが発生すると血液中のPSAが上昇するため、前立腺がんの腫瘍マーカーとして活用され、人間ドックなどの健診での検査項目の一つになっています。

PSAは前立腺肥大症や炎症などによっても上昇することがあり、最終的には生検(患部の一部を切り取って行う検査)にてがんの有無を確認する必要があります。生検は発熱や出血などの副作用の可能性があるため原則として入院にて実施しています。

50歳以上の男性はPSA検査を積極的に受けましょう

前立腺がんのように採血のみで検査が可能ながんは少ないため、ぜひ積極的に活用してほしいと思います。前立腺がんは高齢男性に発症しやすく、前立腺がんを発症した患者さんの大部分が50歳以上の男性です。50歳を超えたらぜひPSA検査を受けられてはいかがでしょうか？

図1 日本人における罹患患者数の推移と将来予測(男性)



2025年には男性の悪性腫瘍罹患患者数で第1位になると予想されており、前立腺がんの生涯罹患リスクは15%で、6~7人に1人が前立腺がんに罹患する計算になります。

名古屋セントラル病院の人間ドックには、基本コースにPSA検査が含まれています。

※50歳以上の男性のみ

真夏の音楽祭「音楽の広場」



静岡支部
片平 雅之

静岡は、音楽の盛んなところで、管弦楽団や合唱団の数は日本で5本の指に入ると思われています。演奏会場も多く、その中で3,000人以上収容できる会場は、東静岡駅前の多目的施設「グランシップ」です。この会場で真夏の音楽祭「音楽の広場」が行われるようになって今年で8回目となり私も参加しました。

この音楽祭は、毎年8月の第一日曜日に行われ、今年は8月2日でした。そこには著名な演奏家も招かれ、今回は、マエストロの広上淳一、声楽の佐野成豊、豊越満美、バイオリンの大谷康子氏等で、司会は元NHKのキャスターの堀尾正明氏でした。しかし、他の演奏者は概ね県内から集まるアマチュアの方で、3ヶ月近いレッスンを重ね、この一日の演奏会のため練習をします。学生から高齢者まで幅広い年齢層の人がいますが、60代以上の方が多いように感じました。

演奏者の中には、私を知る鉄道OBの方は三人いま

したが、現場時代音楽に興味があることを余り知りませんでした。このクラシックの音楽祭は、劇場で静かに聴くのと

は違い、観客と一緒にパフォーマンスを楽しみます。私は、合唱ですが、演奏者は自分のパートを思いっきり奏で会場に響き渡らせます。これは他では味わえない立っ感動を与えてくれます。

フィナーレは、会場の皆さんと一緒に「不二の山を望む歌」を歌います。これは万葉集に出てくる山部赤人の長歌に、ホルストの「木星」の曲に載せたもので、よく知られた「田子の浦か ゆち出でて見れば 真白にそ富士の高嶺に 雪は降りかくが」元になっています。

この音楽祭は、まだ小さな地方都市からのものですが、イギリスには既に100年以上続いている真夏の音楽祭「プロムス」があります。この音楽祭を模したものと聞いていますが、静岡の音楽祭も今後世代を繋ぎ発展し「プロムス」に伍して語られるようになることを願っています。

東海道五十三次の足跡を訪ねて



三島支部
大川 一雄

小生米寿記念に、「東海道五十三次 大川一雄と黒書」を予てから計画し、自宅が三島であることから先ずは、平成24年5月9日に地元の三嶋大社に前途の無事を祈願し、順序不同で行けるところから訪ねることとしました。

訪ねた場所が分かるように幟(黄色地に米寿記念東海道53次の旗 大川一雄と黒書)を持ち、その場所で証書写真を撮りました。

お江戸日本橋から京都三条まで496km、全部歩くことが望ましいが、それは無理で、バイクで行けるところまで(日本橋から第29宿浜松宿までバイク)行き、後は新幹線、電車、バス、タクシーを利用して、平成27年9月16日足掛け3年で京都三条大橋に立ちゴールすることができました。

江戸と京都を結ぶ東海道は、昔も今も変わらぬ交通の大動脈であり、その道程に存在する五十三の宿駅を描いた広重の保永堂版「東海道五十三次」はご存じのとおりですが、その宿駅の数には、出発の日本橋と終点の京都三条大橋は入っていません。

平成25年5月22日、お江戸日本橋を立ち、日本橋

から京橋・銀座・新橋と銀座通りを日本の超繁華街を不釣り合いのバイクで走りました。沿道はビルばかりで徳川家の菩提寺増上寺の大門を見て、忠臣蔵で知られる泉岳寺に手を合わせました。

幾日にかけて箱根八里の天下の剣を越えて箱根関所立ち寄り、由比宿の広重美術館を見て、竈ヶ崎からの富士山の絶景の素晴らしい。日坂宿では、夜泣き石の伝説のある小夜の中山を経て、赤坂宿では、広重の舎指宿のモデルとなった大橋屋に立ち寄り、宮宿では、宮の渡し場で桑名宿への七里の渡し口を見ました。

庄野宿の白雨を経て関宿へ、関宿の旅館石垣屋に泊まり、古い関宿の面影をじっくり堪能しました。草津宿では、昔のままの遺構を残す貴重な建造物本陣に立ち寄った後、大津宿から京都三条大橋にゴールしました。

江戸時代、当時の旅人達は、その京都を目指して一日当り10里(約39km)位を歩き、江戸日本橋から京都までの126里(496km)を12~15日で歩いたという。野山を越え、川を越えと現代人の旅の感覚では計り知れない幾多の壁を乗り越えて辿り着く京都、安堵の思いはひとしおだったことだろうと推測され、小生も万感の思いで一軒になりました。

「バードウォッチング」弥富野鳥園の探鳥会に参加して

三河支部 鷲尾 修一

当支部会員であるウォッチャーから、仲間と一緒に季節毎に変わる各地の野鳥の生息地へ、双鏡筒を片手にウォッチングに出掛けている。ウォーキング感覚で健康にも良いとの話しを聞き、一度はやってみたいと思っていたバードウォッチング「羽を休める池や森の中で野鳥の生態を観察」の機会を得て出掛けることにしました。

10月18日素晴らしい秋晴れの、下子孫と一緒に弥富野鳥園での探鳥会に参加しました。この会は、夏の7-8月を除いて月1回(年割10回)開催されており、参加は自由で朝10時に弥富野鳥園玄関前に集合しました。この日は総勢40人で日本野鳥の会の指導員と一緒に、何時もは立ち入ることのできない保護地区へと行って行きました。どのような野鳥の姿を見、鳴き声を聞くことができるか、みんなが胸をわくわくしながらの一周約2km、2時間のウォッチングをスタートしました。

今は、夏鳥と冬鳥の入れ替わりの時季でもあり、数は少ないかもしれないと野鳥の会指導員のお話もありましたが、保護地区に入るや、色々な鳴き声が聞こえてきました。しかし、声はずれども姿は見えずの状態で歩いて行くと、周辺の木々の葉が野鳥の糞で真っ白になっており、野鳥の多さが伺えました。30分ほど歩くと「モズ」の高鳴き声が聞こえ、その姿が高い木の上に確認でき、池には「コガモ」「オナガガモ」「カワウ」「コサギ」「ダイサギ」などが確認できました。また、上空には「ミサコ」「ジョウビタキ」が飛んでいるとの情報もありましたが、私たちに確認できませんでした。

更に、後半では少なくなったといわれる綺麗な色をした「カワセミ」や長距離(千キロ以上)を移動することで有名な蝶「アサギマダラ」が翅を休めていました。翅の部分には文字が書かれており、いわゆるマーキング調査(調査場所・年月日等)された蝶のようでした。

そうこうしている内に楽しいウォッチングも終了し、最後は、指導員と一緒に今日このウォッチングで確認できた野鳥の「鳥あわせ」が行われ、全部で29種類、猛禽類もいたとのことでしたが、上空を高く飛ぶ鳥の識別は難しく、私たちが確認できたのはその半分程度でしたが、カモ類も増えてきて池の中も賑やかになってきたとのことでした。

探鳥会は、全国で定期的に行われているとのこと、この地方では東山植物園や名城公園などで予定されています。自然の中で野鳥を見つける楽しさを体験しましたので機会があれば支部の行事の一つとして実施することを検討しつつ、他会場での探鳥会を含めてまた参加したいと思っています。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JOBとくがい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたものでJR東海工「ア」を希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。お送りいただいたもののうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により頼んでもらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。家族連れは友達と一緒に、楽しい「OB生活を送られて」いる「旅、遊び等」写真を紹介します。写真のタイトル及び800字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し、魅力ある支部、活気ある支部づくりを促してまいりますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。原稿は、会報発行毎に、一名様所ごとに賞状葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内に限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、原稿に「短歌」「俳句」「川柳」と書明して下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、随時掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了解下さい。なお、誤字等は修正させていただきます。寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

囲碁教室 考える力と体力

静岡支部 西ケ谷 重信

当支部の囲碁活動は長く、国鉄時代に通り道網と維持継続され、所属メンバー開催場所等は、その都度変化を遂げ今日の囲碁教室に至っております。

毎月第三木曜日、伊河麻神社集会所（静岡駅から南へ約1km）で開いており、現在の会員は10名、その内出席は平均6名と少人数ですので、来た人から順次盤を囲み、次は相手を交代するという具合に、朝10時から昼食をはさみ、午後4時位を目処に、三局から四局を興じます。

平均年齢80歳ですので、上達は二の次、技を仕掛け、策をめぐらせ、切った切らせた、取った、取らせた、考える力と直感力で、勝負を楽しんでいます。

また、昼食時には、現職時代を振り返り、コミュニケーションは盛り上がり、何時の間にか自分本位の落ちがつかず。

平均棋力は、初段程度で最も強いのは六段、対戦はハンディキャップ戦で日本棋院のルール遵守です。その都度、勝ち負けを記録し、公正さを保っています。



▲心算ともに健康で囲碁を楽しむメンバー

囲碁は、認知症防止に効果があるとされており、盤上に二手先、五手先を白石・黒石を思い浮かべ読む。次に相手がどのような手を打つか想像し、かつ、期待する。予期しない手の場合の緊張感。また、30分から1時間程度同じような姿勢を保つ等々、気力と体力、未知への興味もあり、ボケ防止と言われる所似と思われま。

当教室も少数化及び高齢化が顕著であり、如何に会員増と若返りを図るかが喫緊の課題ですが、この難問を解決する道筋は見えません。先ずは長く生きることを目指し、体力の保持による考える力を深め「日々新たななり」と考える次第です。

我が支部の誇り



世界文化遺産 「葦山反射炉」

三島支部 西島 孝男

当支部は、伊豆半島北部の市町村（三島市、熱海市、伊東市、伊豆の国市、伊豆市、清水町、函南町）5市2町の広範囲の中で組織されています。

伊豆は、温泉・食・歴史・景観等、全て揃った全国屈指の観光地ですが、昨年（2015年）7月5日ドイツのボンで開催された第39回世界遺産委員会で、葦山反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産、製鉄、製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録が決定され、伊豆半島の歴史に大きな1ページが刻まれました。

構成遺産は、岩手、静岡、山口、九州と広く国内に分布し、合計8エリア、23資産によって構成される一大資産構成となっています。これら明治日本の産業革命遺産は、普遍的価値を持っており、世界遺産として認められたものです。

その中で葦山反射炉は、どのように位置づけられているのか調べてみました。その答えは、幕末期における西洋からの製鉄技術導入を示す証拠であるという点にあります。

幕末期の日本では、迫り来る諸外国の艦隊に対する防衛策として、進歩した西洋技術を取り入れるとともに、鉄製大砲の大量生産に取り組みました。佐賀、薩摩などの先駆的な藩が反射炉を築造する一方で、葦山代官江川英徳の進言によって幕府が築造したのが葦山反射炉です。

領国下の日本において、オランダの技術と日本の伝統



▲反射炉前で記念撮影

的な技術との統合により、独力で反射炉築造による西洋技術の獲得を遂げた試みは、人類の価値観の重要な交流の証拠となるものです。

更に、実際に稼働した反射炉として国内唯一現存する葦山反射炉は、日本における近代製鉄技術導入の黎明期を象徴する重要な証拠であり、「明治日本の産業革命遺産」の中で、西洋技術の自主的な採用を示す初期段階の重要な構成資産と位置づけられています。

2013年6月22日に世界文化遺産登録された「富士山」に続き、今回登録された「葦山反射炉」は距離的に近く、葦山反射炉から富士山を眺望できるスポットがあり必見です。また、当地は、源頼朝や北条早雲といった人物が活躍した土地で歴史の宝庫です。是非、訪れてみて下さい。

文芸

【短歌】

油山寺に 詣て見れば 奥深く
せ、らぎの音 京都を感ぶ
くれないの 光り輝く 太陽に

両手合わせる 九十の春

フオロギの 奏でる声に 我が心

メモロディーつくる 秋の夜長を

野田支部 鈴木まよ子

白からが 高に剣れ 日にちの

暮らしの重さ 妻思いをり

われの顔 見てはうれしと 涙する

ひと日をそばで 見守りてやる

津支部 岡 俊雄

この足が 西徳岳 極めたり

若かりし頃 今更に思う

掌に 三・四滴を 落すのち

髪に染るるは 昔からなり

浜松支部 原 哲

今日もまた 老いて背負いて 二千歩の

午前散歩 出てゆかんとす

沼津支部 山田寿男

【俳句】

声小さく 大願祈る 初詣

山門の 阿味の儀や 初詣

寺ごとに 音の異なる 除夜の鐘

初燕 光のように 過ぎ去れり

浜松支部 大倉照二

初日の出 赤わせ念じ 手を合す

天の青 小春日和の 年始かな

四日市支部 小川 勇

初日の出 その時誰も 天動説

元朝の「のぞみ」で様す 富士新た

東京地方本部 藤田 敏

幸せを 噛みしめる今 旅鳥旅鳥

脳の汗え いっまで続く 八十路坂

大府支部 約田博治

ライオンも 光も眠る 玩具箱

欠点を 斜に読んで 丸にする

岐阜工務局支部 弓折英二

髪に誘う 何故に垢かん 越美娘

日本海 大姉群れて 珊瑚なく

美濃大田支部 松本 弘

涙までいる 証しに顔 光らせる

言いなり されたこころの 葉がない

名古屋工場支部 福助正彦

【川柳】

編集後記

会員の皆様おけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。昨年、日本の安全保障法制が議論されました。「水と自由と安全は無料」という認識では通用しなくなりました。フランスのJRVで発生した同時多発テロのようなことが、日本でも起こりうることを再認識させられました。

今年は、明るい話題が溢れる年にしたいものです。

1. 本部から

日本鉄道OB会連合会の全国大会が、10月15日に東京で開催され、永年OB会活動に貢献された会員に特別功労章、地域や社会に貢献されたインストラクターの会員に表彰状が授与されました。秋の祝典の伝達式が、11月9日に東京で行なわれ、東海鉄道OB会からは、鉄道業務功労で4名の会員が栄誉に浴されました。

2. 地本・支部だより

名古屋地方本部から高山、半田、中村、三河の各支部から活動状況をいただきました。静岡地方本部からは、身延、飯田の各支部から活動状況をいただき、また、東海東京地方本部のJ入旅行や東海大阪地方本部のゴルフ大会など、それぞれの地方本部及び支部で活発に活動され、会員相互の親睦

を図られておられます。今後も継続的に活動されることを期待します。

3. 読者のひろば

静岡支部の片平さんは、支部総会でもアトラクションとして演奏されており、支部の活動を盛り上げておられます。三島支部の大川さんは、米寿を越えられて東海道五十三次を歩かれお元氣な様子が見えます。会員の皆様もどしどし投稿してください。

4. 我が支部の誇り

今回は、東海鉄道OB会のエリア内で、昨年7月に世界文化遺産に登録された「葦山反射炉」について三島支部からいただきました。会員の皆様も訪れられては如何でしょうか。

(南川)

JR
JR東日本

今、逢いに行こう、
超電導リニアに。
未来がもっと楽しみになる。




リニア・鉄道館

JR名古屋駅より 赤池のみね橋「金城ふ頭駅」下車
徒歩約2分(名古屋駅～金城ふ頭駅間片道24分)
開館時間：10:00～17:30(最終入館は閉館30分前まで)
休 館 日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～1月1日
入 館 料：1,000円(小中学生500円、幼児(3歳以上)200円)他



リニア・鉄道館 

※詳細はウェブサイト

JR OB とうかい

Vol.44 2016年1月

発行/〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤1-3-16 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/ 廣川 謙 TEL.052-453-7292(FAX兼用)